

## 2 教育・研究活動

### (12) 非常勤講師等

#### ① 非常勤講師

##### ア 大学院学校教育研究科

授業科目名	時間数
学習臨床学特論	30
教育方法臨床学特論	15
学習場面臨床学特論	15
地域教育特論	15
学校教育相談特論	30
学校実験計画法	30
心身医学特論	30
障害児病理学論A	30
障害児病理学論B	30
特別支援教育論 I	20
漢文学特論	30
政治学特論	30
理科野外観察指導実習H	15
理科野外観察指導実習 I	15
音楽における心理と発達	15
日本音楽研究	15
複合造形研究	30
住居学特論	30
食教育特論	30
教育課程行政特論	30
算数・数学学習過程特論	15

##### イ 学校教育学部

授業科目名	時間数
教育方法学	15
教育工学	15
教育実地研究Ⅳ（特別活動の指導法）	30
心理統計解析	30
乳幼児の健康	30
養護内容	30
漢文学講読	30
社会学概説	30
考古学認識論	30
算数科指導法	30
音楽	40
合奏C	15
独唱Ⅲ	15
初等音楽科指導法	30
中等音楽科指導法「本質論」	30
中等音楽科指導法「学習課程論」	30
体操・器械運動	30
中等保健体育科指導法「課程論」	30
木材手工具加工法	30
木材機械加工法	30
金属加工法	30
家庭	10
住居学（製図を含む。）	30
初等家庭科指導法	30
博物館経営・情報論	30
社会教育計画A	30
社会教育計画B	30
社会教育演習 I	30
社会教育演習 II	30
学習臨床カウンセリング基礎	30

## ② 教員養成実地指導講師

### ア 教職に関する科目（教育実習の事前及び事後指導に関するものは除く）

授業科目名	授業の趣旨・概要	年間授業時間数
人間教育学セミナーⅠ	教育実践の視点からの教職の意義	4
生活科指導法	生活科及び総合的な学習について、教育実習に必要な知識・技能を提供する。	16
初等国語科指導法	小学校の国語科教材の見方・扱い方について実践的な立場から説述する。	8
中等国語科指導法（授業論）	中学校の国語科授業における授業計画の立て方について実践的な立場から説述する。	4
中等国語科指導法（課程論）	中学校の国語科授業におけるカリキュラム開発について実践的な立場から説述する。	4
中等英語科指導法（授業論）	中学校の英語科授業における授業計画の立て方および実践について学ぶ	4
算数科指導法	算数的活動を中心に据えた算数の指導展開の実際	12
数学科指導法	問題解決の立場に立つ数学の授業構成と展開の実際	12
数学教材開発論	中学校における論証の意義指導に関する教材開発の実際	8
理科指導法演習	小学校理科の指導に関する展開例、実践例及び問題点	2
理科指導法演習	小・中学校理科の連続性に関する問題点、展開例及び注意点	2
実践セミナー	小学校教員養成（図画工作）	2
図画工作科指導法	小学校教員養成（図画工作）	8
中等美術科指導法（過程論）	中学校教員養成（美術）	4
中等美術科指導法（教材論）	中学校教員養成（美術）	4
家庭	初等教育の家庭科における衣食住生活環境などについて講述する。	2
中等家庭科指導法（教材論）	中学校教育現場における家庭科教材の具体的指導事例について講義する。	2
中等家庭科指導法（授業論）	中学校家庭科授業の実際について、教育現場の視点から講義する。	2
中等家庭科指導法（教材論）	家庭科における情報教育の在り方とパソコンを利用した教材作成方法について指導する。	4
初等家庭科指導法	小学校教育現場における「いのちの教育」実践について紹介、講義する。	12
初等家庭科指導法	初等教育の家庭科における適切な教材観を養い、授業設計ができるようにする。	6
中等技術科指導法（課程論）	技術科のカリキュラム開発と実践	4
中等技術科指導法（課程論）	技術科カリキュラム構成と実践（特に技術とものづくり）	4
中等技術科指導法（課程論）	技術科カリキュラム構成と実践（特に情報技術とコンピュータ）	2
中等技術科指導法（基礎論）	技術科教材研究の実践に関する基礎論	4
中等技術科指導法（基礎論）	技術科授業の構成と実践（特に技術とものづくり）に関する基礎論	4
中等技術科指導法（基礎論）	技術科授業の構成と実践（特に情報技術とコンピュータ）に関する基礎論	2
初等音楽科指導法	初等音楽科の授業に関する内容（目的、教材、指導法、評価）	20
中等音楽科指導法	中等音楽科の目的、理念的内容を中心とする。	4
中等音楽科指導法（実践応用論）	学生が作成した中学校音楽科の学習指導書を検討し、授業の改善を試みる。	4
総合演習（学校と食の教育）	人間と食との関係を総合的に理解すると共に、自らに適した食の選択能力を育成するため今日学校が一体となって行うことが求められている食の教育について必要な知識や指導の方法を学習する。また、食の教育とその現状を体系的に理解するため、具体的には教員養成実地指導講師を招き、授業や給食における食教育の実践例を紹介する。	10
学習場面臨床学	子どもの学びの成り立ち・過程と、そこにおける教師の関わりについて実践的に理解する。	4
学習場面観察基礎	子どもの学びの場面に実際に臨みながら、その成り立ちと過程を観察し、子どもの学びの論理をとらえるための基礎的な実習を行なう。	2
障害児教育概論Ⅰ（介護等体験事前・事後指導含む）	特別支援教育の理念と実際についての基礎的事項及び介護等体験の理念と体験実施学校・施設の現状について理解を深める。	14
初等体育科指導法	小学校体育の学習指導理論に基づく授業づくり演習	8

## イ 教科に関する科目

授 業 科 目 名	授 業 の 趣 旨 ・ 概 要	年間授業 時 間 数
総合・生活	生活科・総合的な学習の実際について、基礎的知識を提供する。	12
総合学習と生活科	小学校における生活科と総合的な学習の具体的な展開を講ずる。	10
学習指導と学校図書館	学校図書館の活用およびその指導内容・方法について、実践的な立場から説述する。	10

## ウ 教育実習の事前及び事後指導に関する科目

授 業 科 目 名	授 業 の 趣 旨 ・ 概 要	年間授業 時 間 数
保育実習Ⅱ	知的障害者施設の実態と具体的な指導法の理解を図る。	4
保育実習Ⅰ	保育所実態と具体的な指導法の理解を図る。	2
教育実地研究Ⅱ (授業基礎研究)	教育実習に向けて、教育実習全体の心構えや学習指導案の作成指導等	4
教育実地研究Ⅱ (授業基礎研究)	教育実習に向けて、音楽の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	4
教育実地研究Ⅱ (授業基礎研究)	教育実習に向けて、体育の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	4
教育実地研究Ⅱ (授業基礎研究)	教育実習に向けて、図工の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	4
教育実地研究Ⅱ (授業基礎研究)	教育実習に向けて、国語の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	4
教育実地研究Ⅱ (授業基礎研究)	教育実習に向けて、社会科の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	4
教育実地研究Ⅱ (授業基礎研究)	教育実習に向けて、算数の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	4
教育実地研究Ⅱ (授業基礎研究)	教育実習に向けて、理科の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	4
教育実地研究Ⅱ (授業基礎研究)	教育実習に向けて、生活科の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	4
教育実地研究Ⅱ (授業基礎研究)	教育実習に向けて、道徳の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	4
教育実地研究Ⅱ (授業基礎研究)	教育実習に向けて、学習指導上不可欠な基礎的技能を15グループに分けてグループ単位で実践的に修得させる。板書指導とその構造化の指導を担当する。	24

### ③ ティーチング・アシスタント

ア 修士課程学生

授 業 科 目 名	担当教員	学期	曜日 時限	任用時間数
体験学習A	濁川・木村・阿部	前期	集中	30時間
体験学習C	西山・室谷・定本	通年	不定期	30時間
体験学習F	立屋敷・佐藤(悦)・光永・藤木	通年	不定期	30時間
体験学習G	天野・大場	通年	不定期	30時間
体験学習H	後藤他	通年	不定期	22時間
ウォータースポーツ	清水・加藤・下村	前	集中	30時間
マリンスポーツ	清水・加藤・下村	前	集中	30時間
表現・相互行為教育演習	加藤泰・松本健・阿部亮	前	火1	23時間
音楽	山本 他	通年	木3	60時間
図画工作A	洞谷・西村・山/下・高石・松尾	前	金3	30時間
図画工作B	洞谷・西村・山/下・高石・松尾	前	木1	30時間
図画工作C	洞谷・西村・山/下・高石・松尾	前	火3	30時間
図画工作D	洞谷・西村・山/下・高石・松尾	前	木4	30時間
中国語・中国事情 I	黎子椰	前	月1	30時間
教育情報応用演習	井上	前	月4	30時間
教育情報応用演習	大森	前	月5	30時間
教育情報応用演習	高野	前	水2	30時間
教育情報応用演習	石川	前	火1	30時間
表現・〈子ども〉の活動AB	西村 他	前	金1・2	30時間
表現・〈子ども〉の活動CD	阿部(靖)他	前	金1・2	30時間
初等音楽科指導法	時得 他	前	月2	30時間
初等音楽科指導法	時得 他	前	木2	30時間
初等家庭科指導法AB	滝山・得丸	前	火2	10時間
初等家庭科指導法CD	滝山・得丸	前	火1	10時間
書写書道II	押木	前	月3	30時間
コンピュータ・プログラミング入門A	高野	前	木3	30時間
地理学野外実験	赤羽・佐藤	前	集中	30時間
指揮法 I	後藤	前	木5	30時間
造形基礎AC	洞谷 他	前	月5	30時間
地学実験	大場・天野	前	月4・5	30時間
地域調査法B	赤羽・佐藤	前	集中	30時間
造形基礎BD	西村 他	前	月4	30時間

授 業 科 目 名	担当教員	学期	曜日 時限	任用時間数
食生活論	立屋敷	前	火5	30時間
工芸表現B	高石	前	木5	30時間
デザインワークII	山ノ下	前	月4・5	44時間
絵画表現	洞谷 他	通年	火4	30時間
野外運動B(カヌー)	清水	前	集中	30時間
数学基礎演習I	黒木	前	火4	30時間
体験学習E	高石	後期	不定期	30時間
スノースポーツ	市川	後期	集中	30時間
教育情報基礎演習	井上	後期	月4	30時間
教育情報基礎演習	大森	後期	金3	30時間
教育情報基礎演習	中野	後期	月4	30時間
教育情報基礎演習	石川	後期	木2	30時間
教育情報基礎演習	高野	後期	金4	30時間
表現・状況的教育方法演習	高石 他	後期	水1	30時間
総合演習(学校と食の教育)	立屋敷	後期	月5	30時間
保育・音楽表現の指導法	大山	後期	火3	30時間
保育・造形表現の指導法	松本健義	後期	火2	30時間
カウンセリング基礎演習	宮下・五十嵐	後期	水1	30時間
コンピュータ・プログラミング入門B	高野	後期	月3	30時間
計算機数学演習	中川仁	後期	木4	30時間
書写書道I	押木	後期	月2	30時間
野外運動A(スキー)	市川	後期	集中	30時間
デザインワークI	山ノ下	後期	木3	30時間
機械工学実習	黎子椰	後期	木4	30時間
伝統絵画表現と鑑賞	洞谷 他	後期	火5	30時間
被服製作の理論と実習	佐藤(悦)	後期	火3～5	30時間
調理の理論と実習	立屋敷	後期	火3～5	30時間
物理学実験	西山・室谷・定本	後期	月3・4	30時間
数学基礎演習II	溝上	後期	火4	30時間
生物学実験	小川(茂)	後期	木4・5	30時間
食科学実験A	光永	後期	月4・5	30時間
被服学実験A	佐藤(悦)	後期	木4・5	5時間

イ 博士課程学生

授 業 科 目 名	担当教員	学期	曜日 時限	任用時間数	
臨床心理基礎実習Ⅰ	藤生英行 他	前期	木 3・4	50	時間
臨床心理基礎実習Ⅱ	藤生 英行	後期	木 3・4	102	時間
障害児研究法演習	我妻 敏博	通年	不定期	51	時間
障害児教育臨床実習ⅠB	我妻 敏博	後期	不定 期	25	時間
地域研究実験	大嶽, 佐藤	前期	集中	43	時間
音楽学演習	茂手木潔子	前期	火 2	25	時間
日本音楽研究	茂手木, [福永]	前期	集中	13	時間
合奏C	茂手木, [大島]	前期	金 3	13	時間
独唱Ⅲ	茂手木, [竹澤]	前期	集中	13	時間
メディアデザイン研究	西村 俊夫	後期	月 1・2	51	時間
木工芸研究	西村 俊夫	前期	木 1・2	34	時間
工芸表現A	西村 俊夫	後期	木 5	26	時間

担当教員の [] 書きは, 非常勤講師を表す。

④ ティーチング・サポーター

修士課程学生

授 業 科 目 名	担当教員	学期	曜日 時限	任用時間数	
国語（書写を含む。）	押木	前	金 1 集中	30	時間
音楽	山本 他	通年	月 6	20	時間
図画工作	洞谷 他	前	木 6	30	時間
体育	市川	前	火 4	30	時間
家庭	滝山・得丸	前	月 2	20	時間
算数科指導法	岩崎・布川	前 前	木 2 火 2	60	時間
初等家庭科指導法	滝山・得丸	前	木 6	20	時間
理科	中村（雅）	後	月 2 火 1	30	時間
道徳の指導法	林	後	集中	30	時間
教育工学	南部	後	集中	15	時間
図画工作科指導法	太田・阿部	後	木 6	30	時間
生徒指導論	安藤	後	月 1	15	時間
教育実地研究Ⅴ（カウンセリング論）	宮下 他	後	木 2	30	時間
進路指導・キャリア教育論	三村	後	集中	15	時間

⑤ リサーチ・アシスタント

任用期間	研究補助業務担当時間数	研究プロジェクト等名	左の中心的組織名	研究プロジェクト代表者
7月 1日～3月31日	200時間	ハルピン師範大学との連携事業	学校教育研究科	我妻 敏博 教授
7月 1日～3月31日	200時間	効果的なカウンセリング研修に関する研究	学校教育研究科	藤生 英行 助教授
7月 1日～3月31日	200時間	日本及び中国における水環境の現状とその教材化に関する比較研究	学校教育研究科	佐藤 芳徳 教授
7月 1日～3月31日	200時間	小・中学校との連携による図画工作・美術科カリキュラムの開発と実践に関する研究	学校教育研究科	西村 俊夫 教授